

相関文化論専攻 博士課程前期

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本専攻博士課程前期では、以下の能力と資質を有する者を受け入れる。

- AP1 多様な異文化に関する知識と研究対象とする文化に関する研究情報を有している人。
- AP2 文化を国際的・学際的な視点から多元的にとらえ、自分の研究が社会にどのように貢献できるか考えられる人。
- AP3 諸地域・諸分野の文化の関係性に対する好奇心と研究対象に対する探究心を有している人。
- AP4 十分な語学力を有し、自分の考えを論理的に表現できる人。

上記 AP1、AP3、AP4 は語学試験（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、日本語（古文）から出願時に選択）と論文からなる筆記試験によって、AP2 は口述試験及び提出書類によって評価する。